

2019年度

# 学校要覧



## 三重県立城山特別支援学校

〒514-0818 津市城山一丁目5番29号

TEL <059> 234-3431 (事務室)

<059> 234-9460 (職員室)

<059> 234-3237 (寄宿舍)

FAX <059> 234-3432

ホームページ <http://www.mie-c.ed.jp/ssiroy/>

# 学校概要

昭和37年4月に県下唯一の養護学校として三重県立養護学校が設立されました。以来、肢体に障がいがある県下の児童生徒を受け入れ、肢体不自由教育を実施してきました。

昭和41年4月に高等部を設置し、小・中・高の一貫した教育が行えるようになりました。

昭和49年4月に筋ジストロフィー児のための分校が鈴鹿に設置され、昭和52年4月に独立したため、校名を三重県立城山養護学校と変更しました。

昭和54年度、養護学校教育の義務制施行にともない、隣接の草の実リハビリテーションセンター内に設置されていた分教室が草の実分校として昇格しました。更に平成5年には草の実養護学校として本校より独立しました。なお、草の実リハビリテーションセンターには整形検診等の医療的な処置や指導を仰いだり、緊急時の対応をお願いしたりしていました。

本校には、原則として県内の亀山市、鈴鹿市、津市に在住する肢体不自由児が就学していますが、知的障がいを併せ有する児童生徒も増加し、障がいが重度・重複化、多様化してきています。

平成13年度には県メディカルサポート推進事業研究指定を受けて、看護師が配置されました。

平成19年4月には、三重県立城山特別支援学校に校名を変更し、看護師免許を有する教員が常勤となりました。

平成21年4月には、三重県立草の実特別支援学校と統合し、草の実特別支援学校は城山特別支援学校草の実分校となりました。平成29年4月には城山特別支援学校草の実分校は「かがやき特別支援学校」に移管しました。

## 校歌

作詞・作曲 鈴木正孝

一、はるかに輝く伊勢の海

潮の音 遠く 聞きながら

明るく 強く 生きようと

はげむ ぼくたち わたしたち

希望に燃えて 進もうよ

二、風さわやかな城山の

花咲きにおう 丘の上

やさしく 清く すこやかに

のびる ぼくたち わたしたち

心ゆたかに あゆもうよ

三、明るい太陽 光る雲

青空見上げて 胸をはれ

みんなの 道は 遠くても

未来を信じ サアいこう

ああわが母校 栄えあれ

# 目 次

1	本校のミッション（使命、存在意義）	1
2	目指す学校像	1
3	本校の教育目標	1
4	中・長期的な重点目標	3
5	沿革	4
6	教育課程	5
7	児童生徒数及び通学方法	1 2
8	出身市別児童生徒数	1 3
9	校時表	1 3
1 0	職員構成	1 3
1 1	卒業生の進路	1 4
1 2	スクールバス運行表	1 5
1 3	学校運営組織図	1 6
1 4	学校年間行事	1 7
1 5	校舎施設配置図	1 8
1 6	学校案内図	2 0

## 1 本校のミッション

中勢地域にある肢体不自由特別支援学校として、関係機関との連携をもとに、多様な教育的ニーズのある児童生徒に対して幅広い教育活動を展開し、自立と社会参加の促進を図るとともに、特別支援教育のさらなる充実を目指す。

## 2 目指す学校像

子どもたちの笑顔があふれ、豊かな学びができ、生活力が高まる学校

## 3 本校の教育目標

よりよく生きようとする力を育てる

一人ひとりの児童生徒が、安全・安心な教育活動のもとで自己の可能性を伸ばし、社会の一員として明るく強く生きる力を身につける。（校歌一節「明るく強く生きよう」とから）このために、以下の3点を“目指す姿”ととらえて教育活動を展開します

### ①明るくたくましい子（明朗）

自己の障がいの機能の改善と体力の向上に努め、明るくたくましく生きる力を育てる。

### ②自分でやりぬく子（自立）

自己のできることを増やし、自ら考え、自主的に解決していける力を育てる。

### ③助け合う心豊かな子（友愛）

視野を広め、社会性を養い、お互いの人格を尊重し協力し合う豊かな人間性を培う。

小 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康で丈夫なからだを育てる。</li> <li>○ 興味関心を持ち、自分でやってみようとする気持ちを育てる。</li> <li>○ 自分の気持ちを表現する力を育てる。</li> <li>○ 身近な人と関わる力を育てる。</li> </ul>
-------------	---

中 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力の向上を図り、健康で丈夫なからだを育てる。</li> <li>○ 自分でできることを増やすとともに、自分自身に対する自信を培う。</li> <li>○ 自分の思いや要求を表現し、相手に伝える力を育てる。</li> <li>○ 様々な集団の中で人との関わりを広げる。</li> </ul>
-------------	--

高 等 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康的な生活を送るために必要なからだを育てる。</li> <li>○ 自己選択や自己決定する力を養う。</li> <li>○ 様々な集団行動において、お互いに尊重し合い、協力し合う態度を育てる。</li> <li>○ 豊かな社会生活を送るために人と適切に関わる力を育てる。</li> </ul>
-------------	--

寄 宿 舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康面に留意して、舎生の安全教育と体力向上を図る。</li> <li>○ 日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。</li> <li>○ 友だちとの関わりを深め、自分らしさや思いやりの心を育てる。</li> <li>○ 社会生活につながる基礎的な力（自主性・協調性・社会性）を育てる。</li> </ul>
-------------	---

## 4 中・長期的な重点目標

### 安全・安心で開かれた学校づくり

#### 【安全・安心な教育環境の整備】

- 1 保護者との連携に努め、子どもたちの健康面でのサインをしっかりと受け止めながら、適切な対応を心がけると共に、事故のない安全・安心な教育環境を整備していく。
- 2 適切な実施体制のもと医療的ケアを実施し、効果的な教育のために安全で確実な実施ができるよう整備を進める。

#### 【危機管理体制の充実】

- 1 想定される災害（含む防災）等に対して、安全対策の充実を図る。

#### 【人権教育、交流教育の充実】

- 1 人権教育基本方針をもとに、「差別の現実から深く学ぶ」ことを原則に、人権感覚あふれる学校づくりを推進する。
- 2 子どもたちが地域で生きるために、人権尊重の地域づくりをめざして、家庭訪問や交流及び共同学習を行い、その成果や課題を整理し、地域への発信を進める。

#### 【進路指導の充実】

- 1 自立と社会参加を促進するため、医療、福祉、労働等の関係機関との連携を強化し、生徒の多様なニーズに対応することができるよう進路指導の充実を図る。

#### 【寄宿舎における指導の充実】

- 1 自立を育む生活教育の場として寄宿舎での指導の充実を図る。

#### 【学校関係者（外部）との連携】

- 1 学校関係者評価委員と継続的に連携をはかり、自己評価の結果を評価することを通じて、学校、家庭、地域が学校の現状と課題について共通理解を深め、学校運営の改善を促進する。

### 特別支援教育の推進

#### 【個に応じた教育・支援の充実】

- 1 個別の教育支援計画および個別の指導計画を活用した、きめ細かな指導を図る。
- 2 子どもたちの個々の教育的ニーズに応じた教育課程の編成に努める。
- 3 授業において個別目標を具体化し、効果的な指導が展開できるよう検討をおこなう。また、授業研究を積極的に行い授業の改善をおこなう。

#### 【センター的機能の充実】

- 1 地域の療育センター、保育所・幼稚園、小・中学校、高等学校等との連携を図り、城山が有している人的資源、物的資源を積極的に提供し、センター的機能の充実に努める。

#### 【教職員の専門性の向上】

- 1 学校の教育力を最大限に発揮するため、外部の専門家の活用も含め、校内外の研修の充実を図る。
- 2 特別支援教育における教職員の専門性の向上を図るため、研修の充実を図る。

### 学校組織力の向上

#### 【組織能力の向上と、人材育成】

- 1 継続的な分掌等の運営や人材育成等について将来を見据えた課題の積極的な検討を進める。
- 2 自立活動のあり方・内容について検討を進める。
- 3 寄宿舎統合に向けての課題検討に取り組み、統合後に向けた体制整備を進める。
- 4 過重労働を削減するため業務の効率化に努め、総勤務時間の縮減を図る。

## 5 沿 革

昭和 32 年 10 月 1 日	県立草の実学園設立と同時に津市立高茶屋小学校草の実分校、津市立南郊中学校草の実分校併設、肢体不自由教育始まる
昭和 37 年 3 月 27 日	昭和 37 年度より三重県立肢体不自由養護学校を設立することが県議会で決定
	昭和 37 年 2 月 第 1 期工事着工 (5 月完成 第 1 棟のみ)
	昭和 37 年 3 月 第 2 期工事着工 (6 月完成 寄宿舍 3、炊事室 1、浴場 1)
	昭和 37 年 7 月 第 3 期工事着工 (12 月完成 第 2、第 3、第 4 棟)
	昭和 37 年 9 月 第 4 期工事着工 (昭和 38 年 3 月完成 寄宿舍 6、浴場、電気給排水)
	昭和 38 年 2 月 第 5 期工事着工 (3 月完成 門、前庭、塀)
昭和 37 年 3 月 31 日	津市立高茶屋小学校草の実分校、津市立南郊中学校草の実分校廃止
昭和 37 年 4 月 1 日	三重県立養護学校設立
昭和 38 年 3 月 16 日	秩父宮妃殿下ご来校
昭和 38 年 5 月 11 日	三重県立養護学校竣工式
昭和 39 年 5 月 4 日	三重県立養護学校創立記念日に設定
昭和 41 年 3 月 19 日	昭和 41 年度より三重県立養護学校に高等部を設置することが県議会で決定
昭和 41 年 4 月 1 日	高等部設置
昭和 41 年 9 月 22 日	創立 5 周年記念竣工式典挙行 愛の像建立 第 4 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
昭和 42 年 3 月 31 日	5 教室増築 (318 m <sup>2</sup> ) 運動場整備 (2500 m <sup>2</sup> )
昭和 43 年 6 月 30 日	5 教室増築 (318 m <sup>2</sup> ) 塗装工事
昭和 44 年 2 月 16 日	3 教室増築 寄宿舍 3 室増築
昭和 46 年 3 月 31 日	高等部職業教室増築
昭和 46 年 9 月 21 日	創立 10 周年記念式典挙行 校舎外整備 第 9 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
昭和 47 年 3 月 31 日	3 室増築 車庫改築
昭和 49 年 4 月 1 日	三重県立養護学校鈴鹿分校設置
昭和 49 年 8 月 31 日	寄宿舍改修
昭和 52 年 4 月 1 日	三重県立城山養護学校と校名変更 鈴鹿分校が三重県立杉の子養護学校として独立
昭和 54 年 1 月 1 日	養護学校義務制実施、草の実分教室が分校に昇格。原則として一志郡以北の児童生徒を本校に就学させることに決定
昭和 57 年 8 月 4 日	全国肢体不自由養護学校 PTA 連合会の主催による集団療育事業を本校で実施
昭和 57 年 10 月 13 日	第 20 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
昭和 60 年 12 月 13 日	校舎全面改築第 1 期工事、寄宿舍棟工事着工
昭和 61 年 1 月 16 日	校舎全面改築第 1 期工事、浄化槽工事着工
昭和 61 年 7 月 12 日	第 1 期工事寄宿舍棟竣工
昭和 61 年 8 月 22 日	第 2 期工事 (管理・食堂・特別教室) 着工
昭和 62 年 4 月 8 日	第 2 期工事 (管理・食堂・特別教室) 竣工
昭和 62 年 8 月 18 日	第 3 期工事 (体育館・特別教室) 着工
昭和 63 年 3 月 30 日	第 3 期工事 (体育館・特別教室) 竣工
昭和 63 年 6 月 30 日	第 4 期工事 (普通教室・特別教室・職員室) 着工
平成 元年 3 月 20 日	第 4 期工事 (普通教室・特別教室・職員室) 竣工
平成 元年 6 月 13 日	第 5 期工事 (スクールバス発着場・中央廊下・スロープ・作業棟) 着工
平成 2 年 3 月 20 日	第 5 期工事 (スクールバス発着場・中央廊下・スロープ・作業棟) 竣工
平成 2 年 6 月 13 日	第 6 期工事 (校庭整備) 着工
平成 3 年 3 月 29 日	第 6 期工事 (校庭整備) 竣工
平成 3 年 11 月 22 日	創立 30 周年・校舎改築竣工・分校増築竣工記念式典挙行、学校創立記念日に変更友愛の像建立、校歌額作成
平成 5 年 4 月 1 日	草の実分校が三重県立草の実養護学校として独立
平成 13 年 4 月 1 日	看護師配置
平成 16 年 12 月 1 日	スノーブレンルーム開設
平成 19 年 4 月 1 日	三重県立城山特別支援学校に校名変更
平成 21 年 4 月 1 日	三重県立草の実特別支援学校が統合となり草の実特別支援学校は三重県立城山特別支援学校草の実分校に校名変更
平成 24 年 9 月 14 日	各教室空調設備の整備完了
平成 29 年 4 月 1 日	三重県立城山特別支援学校草の実分校がかがやき特別支援学校に移管

## 6 教育課程

### 小学部

教科・領域		教育課程Ⅰ・Ⅱ					教育課程ⅢA					教育課程ⅢB				教育課程Ⅳ				訪問
		1年	2年	3年	4年	5・6年	1年	2年	3年	4年	5・6年	1年	2年	3年	4～6年	1年	2年	3年	4～6年	
各教科	国語	8	8	6	6	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3					
	算数	3	4	4	5	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2					
	社会			2	2	2														
	理科			2	2	2														
	生活	3	3				1	1	1	1	1	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	音楽	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	☆
	図画工作	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	☆
	体育	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	家庭					1														
	外国語					50時間														
特別の教科	道徳	1	1	1	1	1	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
領域別	特別活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	自立活動	5	5	5	5	5	4	4	4	4	3	5	5	5	5	10	10	10	10	3
合わせた指導	日常生活の指導						11	12	13	14	14	11	12	13	14	11	12	13	14	3
総合的な学習の時間				年間55時間																
外国語活動				年間15時間						1										
総授業時数		25	26	27	28	28	25	26	27	28	28	25	26	27	28	25	26	27	28	6

\* 日常生活の指導では、各教科（☆印）、道徳科（★印）及び自立活動を合わせた指導を行う。

- ・ 小学校の下年代替による教育課程 → 教育課程Ⅱ
- ・ 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程  
（教科学習に重きを置いた教育課程） → 教育課程ⅢA
- ・ 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程  
（身体についての取り組みに重きを置いた教育課程） → 教育課程ⅢB
- ・ 自立活動を主とする教育課程 → 教育課程Ⅳ



## 中学部

教科・領域		学年			教育課程Ⅲ		教育課程Ⅳ	訪 問
		1年	2年	3年	A	B		
各教科	国 語	4	4	3	1	1	☆	☆
	外国語	4	4	4	1			
	数 学	4	3	4	1	1	☆	☆
	社 会	3	3	4	1	☆	☆	☆
	理 科	3	4	4		☆	☆	☆
	音 楽	1	1	1	3	3	3	☆
	美 術	1	1	1	2	2	2	☆
	保健体育	2	2	2	2	2	2	
	技術・家庭	2	2	1	/			
	職業・家庭				◇	◇	☆	☆
特別の教科	道 徳	1	1	1	★	★	★	★
領域別	特別活動	1	1	1	1	1	1	
	自立活動	2	2	2	3	5	9	3
合わせた指導	日常生活の指導	/			10	10	10	3
	作業学習	/			2	2		
	生活単元学習	/					2	
総合的な学習の時間		1	1	1	2	2		
総授業数		29	29	29	29	29	29	6

\* 日常生活の指導では、小学部の生活科に関わる内容と、各教科（☆印）、道徳科（★印）及び自立活動を合わせた指導を行う。

\* 作業学習の指導では、職業・家庭科（◇印）及び自立活動を合わせた指導を行う。

\* 生活単元学習の指導では、広範囲に各教科等を合わせた指導を行う。

- ・ 中学校に準ずる教育課程→教育課程Ⅰ
- ・ 中学校の下学年（下学部）代替による教育課程→教育課程Ⅱ
- ・ 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程→教育課程ⅢA（教科学習に重きを置いた教育課程）
- ・ 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程→教育課程ⅢB（身体についての取り組みに重きを置いた教育課程）
- ・ 自立活動を主とする教育課程→教育課程Ⅳ

高等部

平成29年度入学生

教科	科目	標準 単位数 学年	A類型			B類型		
			1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	国語総合	4	2	3	3	2	2	
	国語表現	3						3
	現代文A	2					☆2	
	古典A	2						☆2
地理歴史	世界史A	2	2			2		□2
	日本史A	2						□2
	地理A	2			2			2 □2
公民	現代社会	2		2			2	□2
	倫理	2						□2
	政治・経済	2						□2
数学	数学Ⅰ	3		3	3	3		
	数学Ⅱ	4					☆2	☆2
	数学A	2					2	
	数学基礎(学)		2					
理科	科学と人間生活	2	2	2		2		
	物理基礎	2			●2		◎2	□2
	化学基礎	2			●2		◎2	□2
	生物基礎	2			●2		◎2	□2
	地学基礎	2			●2		◎2	□2
保健体育	体育	7~8	2	2	3	2	2	3
	保健	2	1	1		1	1	
芸術	音楽Ⅰ	2	1	1	1		1	1
	美術Ⅰ	2	1	1	1		1	1
外国語	コミュニケーション英語基礎	2	2					
	コミュニケーション英語Ⅰ	3		2	2	3		
	コミュニケーション英語Ⅱ	4					2	2
	コミュニケーション英語Ⅲ	4						◆3
	英語表現Ⅰ	2					◆2	
家庭	家庭基礎	2	2			2		
情報	社会と情報	2	2			2		
総合(学)	産業社会と人間(学)	2~4	6	6	6	6	6	6
商業	ビジネス基礎	2~4					◆2	
	課題研究	2~6						◆3
情報	情報産業と社会						◆2	
	課題研究							◆3
科目の単位数の計			25	23	23	25	25	25
自立活動			2	4	4	2	2	2
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1
総合的な学習の時間			3~6	2	2	2	2	2
総授業時間数			30	30	30	30	30	30

- ・ ☆ □ ● ◎ ◆ は、同じ記号内で各学年1科目を選択するものとする。
- ・ B類型2年次に選択した ☆ ◆ の教科は、3年次でも同教科を選択する。

平成30年度入学生

教科	科目	標準 単位数	教育課程 I						
			学年	学習コース			総合コース		
				1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	国語総合	4	2	2		2	3	3	
	国語表現	3			3				
	現代文A	2		☆2					
	古典A	2			☆2				
地理歴史	世界史A	2	2		□2	2			
	日本史A	2			□2				
	地理A	2			2 □2			2	
公民	現代社会	2		2	□2		2		
	倫理	2			□2				
	政治・経済	2			□2				
数学	数学Ⅰ	3	3				3	3	
	数学Ⅱ	4		☆2	☆2				
	数学A	2		2					
	数学基礎(学)					2			
理科	科学と人間生活	2	2			2	2		
	物理基礎	2		◎2	□2			●2	
	化学基礎	2		◎2	□2			●2	
	生物基礎	2		◎2	□2			●2	
	地学基礎	2		◎2	□2			●2	
保健体育	体育	7~8	2	2	3	2	2	3	
	保健	2	1	1		1	1		
芸術	音楽Ⅰ	2		1	1	1	1	1	
	美術Ⅰ	2		1	1	1	1	1	
外国語	コミュニケーション英語基礎	2				2			
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3				2	2	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		2	2				
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			◆3				
	英語表現Ⅰ	2		◆2					
家庭	家庭基礎	2	2			2			
情報	社会と情報	2	2			2			
総合(学)	産業社会と人間(学)	2~4	6	6	6	6	6	6	
商業	ビジネス基礎	2~4		◆2					
	課題研究	2~6			◆3				
情報	情報産業と社会			◆2					
	課題研究				◆3				
科目の単位数の計			25	25	25	25	23	23	
自立活動			2	2	2	2	4	4	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	
総合的な学習の時間			3~6	2	2	2	2	2	
総授業時間数			30	30	30	30	30	30	

- ・ ☆□●◎◆は、同じ記号内で各学年1科目を選択するものとする。
- ・ 教育課程Ⅰ学習コースの2年次に選択した☆◆の教科は、3年次でも同教科を選択する。

高等学校に準ずる教育課程 } 教育課程 → 学習コース  
 下学年もしくは下学部代替による教育課程 } → 総合コース

### 平成29年度入学生

教科・領域	学年	生活類型Ⅰ			生活類型Ⅱ			訪問
		1	2	3	1	2	3	
国語		1	1	1	1	1	1	
数学		1	1	1	1	1	1	
音楽		2	2	2	2	2	2	
保健体育		2	2	2	1	1	1	
美術		1	1	1	1	1	1	
特別活動		1	1	1	1	1	1	
自立活動		3	3	3	14	14	14	5
総合的な学習の時間		2	2	2	1	1	1	
日常生活の指導		11	11	11	9	9	9	1
作業学習		7	7	7	0	0	0	
総授業時数		31	31	31	31	31	31	6

日常生活の指導等の教育活動の中で、各教科・道徳・特別活動を合わせた指導を行う。

### 平成30年度入学生

教科・領域	学年	教育課程Ⅱ			教育課程Ⅲ			訪問
		1	2	3	1	2	3	
国語		1	1	1	1	1	1	
数学		1	1	1	1	1	1	
音楽		2	2	2	2	2	2	
保健体育		2	2	2	1	1	1	
美術		1	1	1	1	1	1	
特別活動		1	1	1	1	1	1	
自立活動		3	3	3	14	14	14	5
総合的な学習の時間		2	2	2	1	1	1	
日常生活の指導		11	11	11	9	9	9	1
作業学習		7	7	7	0	0	0	
総授業時数		31	31	31	31	31	31	6

日常生活の指導等の教育活動の中で、各教科・道徳・特別活動を合わせた指導を行う。

- ・ 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程→教育課程Ⅱ
- ・ 自立活動を主とする教育課程→教育課程Ⅲ

平成31年度入学生

教科	科目	標準 単位数 学年	教育課程 I			教育課程 II		
			1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	国語総合	4	2	2		2	3	3
	国語表現	3			3			
	現代文A	2		☆2				
	古典A	2			☆2			
地理歴史	世界史A	2	2		□2	2		
	日本史A	2			□2			
	地理A	2			2 □2			2
公民	現代社会	2		2	□2		2	
	倫理	2			□2			
	政治・経済	2			□2			
数学	数学Ⅰ	3	3				3	3
	数学Ⅱ	4		☆2	☆2			
	数学A	2		2				
	数学基礎(学)					2		
理科	科学と人間生活	2	2			2	2	
	物理基礎	2		◎2	□2			●2
	化学基礎	2		◎2	□2			●2
	生物基礎	2		◎2	□2			●2
	地学基礎	2		◎2	□2			●2
保健体育	体育	7~8	2	2	3	2	2	3
	保健	2	1	1		1	1	
芸術	音楽Ⅰ	2		1	1	1	1	1
	美術Ⅰ	2		1	1	1	1	1
外国語	コミュニケーション英語基礎	2				2		
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3				2	2
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		2	2			
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			◆3			
	英語表現Ⅰ	2		◆2				
家庭	家庭基礎	2	2			2		
情報	社会と情報	2	2			2		
総合(学)	産業社会と人間(学)	2~4	6	6	6	6	6	6
商業	ビジネス基礎	2~4		◆2				
	課題研究	2~6			◆3			
情報	情報産業と社会			◆2				
	課題研究				◆3			
科目の単位数の計			25	25	25	25	23	23
自立活動			2	2	2	2	4	4
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1
総合的な探求の時間			3~6	2	2	2	2	2
総授業時間数			30	30	30	30	30	30

- ・ ☆ □ ● ◎ ◆ は、同じ記号内で各学年1科目を選択するものとする。
- ・ 教育課程Ⅰの2年次に選択した ☆ ◆ の教科は、3年次でも同教科を選択する。

- ・ 高等学校に準ずる教育課程 → 教育課程Ⅰ
- ・ 下学年もしくは下学部代替による教育課程 → 教育課程Ⅱ

平成31年度入学生

教科・領域		学年	教育課程Ⅲ		教育課程Ⅳ	訪問
			A	B		
各教科	国語		1	1	1	☆
	外国語		1	☆	☆	☆
	数学		1	1	1	☆
	社会		1	1	1	☆
	理科		1	☆	☆	☆
	音楽		2	2	2	☆
	美術		1	1	1	☆
	保健体育		2	1	1	☆
	職業		★	★	☆	☆
	家庭		★	★	☆	☆
領域別	特別活動		1	1	1	
	自立活動		2	9	12	3
合わせた指導	日常生活の指導		9	9	9	3
	作業学習		6	3		
総合的な探求の時間			2	1	1	
総授業時数			30	30	30	6

- ・教育課程Ⅲにおいては、日常生活の指導で各教科（☆印）及び自立活動を合わせた指導を行い、作業学習で各教科（★印）及び自立活動を合わせた指導を行う。
- ・教育課程Ⅳ及び訪問教育においては、日常生活の指導で各教科（☆印）及び自立活動を合わせた指導を行う。
- ・道徳に関しては、道徳教育全体計画に基づき、教育活動全体を通じて取り扱う。
- ・知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程→教育課程ⅢA（教科学習に重きを置いた教育課程）
- ・知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程→教育課程ⅢB（身体についての取り組みに重きを置いた教育課程）
- ・自立活動を主とする教育課程→教育課程Ⅳ

## 7 児童生徒数及び通学方法

2019年4月1日現在

学部	学 級	男	女	通 学 方 法			計
				SB	自主	寄宿舎	
小学部	1 組	2	0	2	0	0	2
	2 組	1	1	1	1	0	2
	3 組	2	0	0	2	0	2
	4 組	2	1	2	1	0	3
	5 組	0	3	2	1	0	3
	6 組	1	1	1	1	0	2
	7 組	1	1	1	1	0	2
	8 組	2	1	3	0	0	3
	9 組	1	2	0	2	1	3
	10 組	1	2	2	1	0	3
	11 組	1	1	2	0	0	2
	12 組	0	2	1	1	0	2
	13 組(訪問)	0	3	0	0	0	3
	14 組(訪問)	1	1	0	0	0	2
	小 計		15	19	17	11	1
中学部	1 組	0	3	2	1	0	3
	2 組	2	0	1	1	0	2
	3 組	2	1	1	2	0	3
	4 組	2	1	3	0	0	3
	5 組	3	0	1	2	0	3
	6 組	2	0	1	1	0	2
	7 組	0	2	2	0	0	2
	8 組	1	2	2	1	0	3
	9 組	1	1	2	0	0	2
	10 組(訪問)	2	1	0	0	0	3
	小 計		15	11	15	8	0
高等部	2 年	2	1	2	1	0	3
	3 年	0	3	1	0	2	3
	1 組	2	1	0	3	0	3
	2 組	2	1	0	1	2	3
	3 組	0	2	0	1	1	2
	4 組	3	0	1	2	0	3
	5 組	2	1	3	0	0	3
	6 組	2	0	2	0	0	2
	7 組	2	1	3	0	0	3
	8 組(訪問)	1	0	0	0	0	1
小 計		16	10	12	8	5	26
合 計		46	40	44	27	6	86

## 8 出身市別児童生徒数

2019年4月1日現在

	鈴鹿市	亀山市	津市	その他の地域	合計
小学部	6	0	24	4	34
中学部	2	3	19	2	26
高等部	3	1	19	3	26
合計	11	4	62	9	86

## 9 校時表

	小学部	中学部・高等部
第1限	8:55 ~ 9:40	8:55 ~ 9:45
第2限	9:50 ~ 10:35	9:50 ~ 10:40
第3限	10:45 ~ 11:30	10:45 ~ 11:35
第4限	11:40 ~ 12:25	11:40 ~ 12:30
昼食・休憩		
第5限	13:15 ~ 14:00	13:15 ~ 14:05
第6限	14:10 ~ 14:55	14:10 ~ 15:00

○スクールバス学校発車時刻

通常の月～金	15:05
短縮日課	13:15
特別日課（始業式、入学式等）	11:05

## 10 職員構成

	男	女	計	校	教	教	講	非	養	実	寄	栄	事	事	学	学	介	講	調	バ	そ	小	学	歯	眼	薬	産	小	合	
				長	頭	諭	師	師	諭	諭	員	諭	長	員	書	員	員	員	員	員	員	員								計
人 員	男		1	21	4	2		1	2		1				1						2	2		1	1				3	40
	女	1		36	11	4	2	2	8	1			3	1	1	1	2	3	4	2	4	4		1			1	3	88	
	計	1	1	57	15	6	2	3	10	1	1	3	1	2	2	3	4	4	4	4	6	6		2	1	1	1	1	6	128



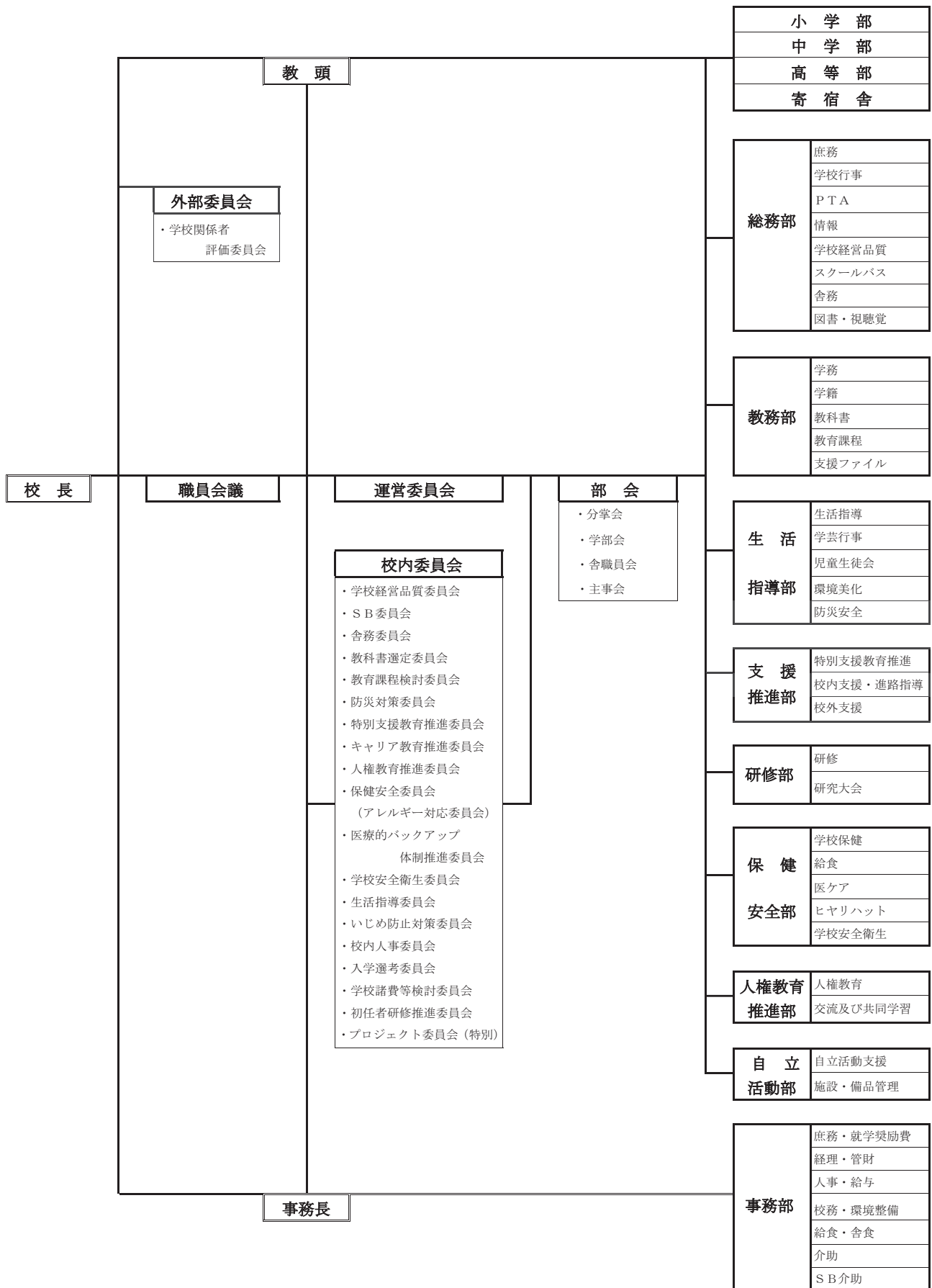
## 11 卒業生の進路（過去10年間）

年 度	学 部	性 別	卒 業 時 進 路									合 計
			進 学	職 業 能 力 開 発 校	就 職	各 種 学 校	福 祉 就 労	生 活 介 護	施 設 入 所	そ の 他	計	
21	中	男	3								3	4
		女	1								1	
	高	男					3		2		5	8
		女					1		2		3	
22	中	男	4								4	9
		女	5								5	
	高	男					1	1			2	3
		女						1			1	
23	中	男	5								5	6
		女	1								1	
	高	男					1	4	1		6	6
		女									0	
24	中	男									0	1
		女	1								1	
	高	男			1				3		3	6
		女						2			3	
25	中	男	5								5	7
		女	2								2	
	高	男					2	4			6	14
		女					2	6			8	
26	中	男	3								3	6
		女	3								3	
	高	男			1		1	7			9	11
		女	1					1			2	
27	中	男	4								4	6
		女	2								2	
	高	男		1		1					2	5
		女						2	1		3	
28	中	男	4								4	9
		女	5								5	
	高	男						3			3	6
		女						3			3	
29	中	男	4								4	6
		女	2								2	
	高	男						4			4	7
		女						3			3	
30	中	男	3								3	4
		女	1								1	
	高	男						5			5	7
		女						2			2	

## 12 スクールバス運行表

鈴鹿コース		亀山コース		一志コース	
(登校)	(下校)	(登校)	(下校)	(登校)	(下校)
7:05 鈴鹿市役所		7:25 亀山市文化会館	16:00	7:35 中川	15:55
	16:15 鈴鹿市消防本部				
	16:05 国道玉垣				
7:15 中央不動産					
7:33 千里	15:50 朝陽中学前				
	15:44	7:50 芸濃町 (ザ・ビッグ)	15:50	7:45 みのりが丘前	15:43
8:00 桜橋 ショッピングタウン・ノバ				7:55 一志庁舎前	
	15:30 イオン津				15:37 田尻
8:10 住吉町		8:20 メッセウイング	15:30	8:10 市営住宅口	15:30
8:25 市役所東				8:25 久居駅西口	15:23
学		校			
8:45	15:05	8:45	15:05	8:45	15:05

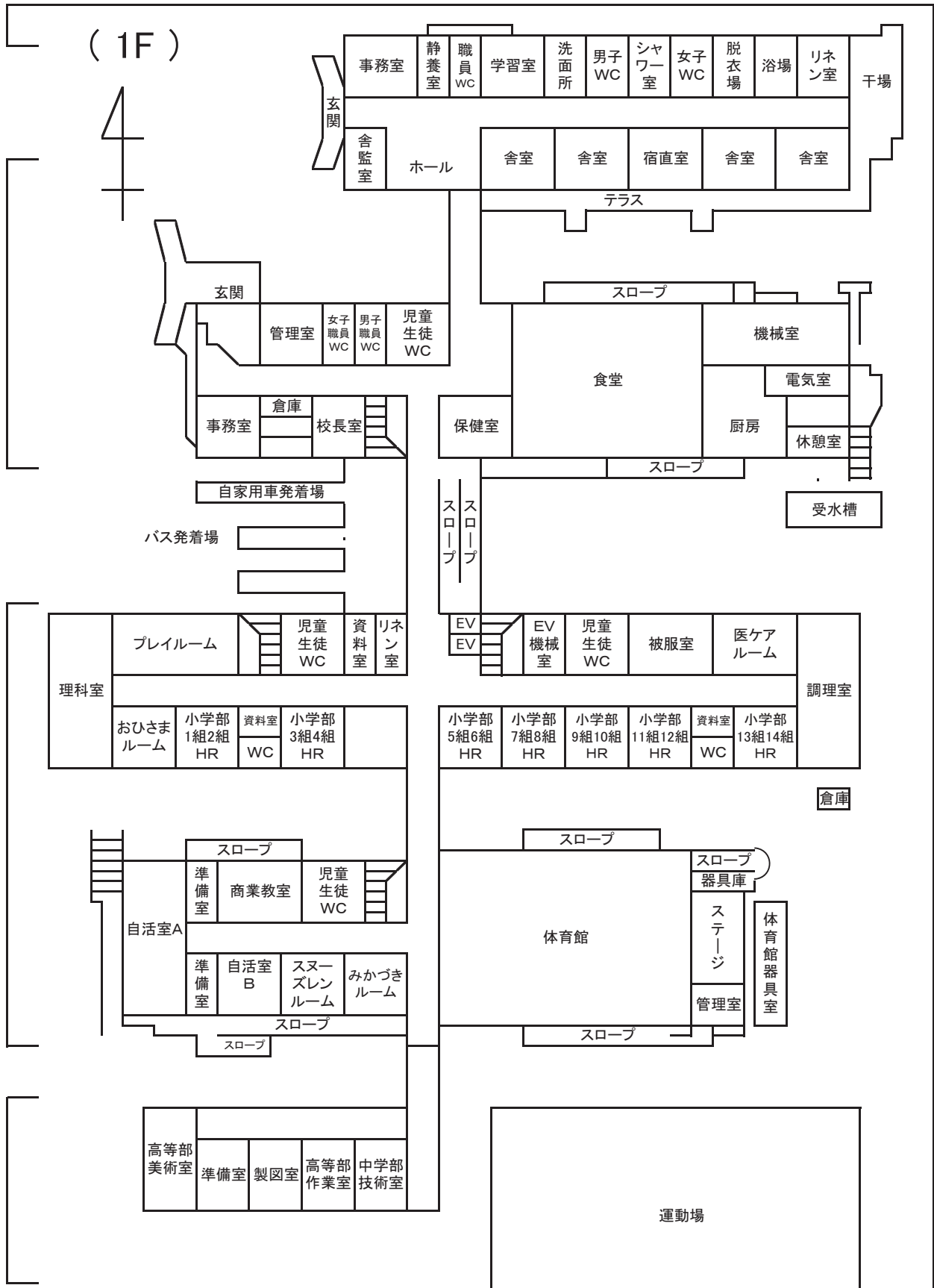
# 13 学校運営組織図



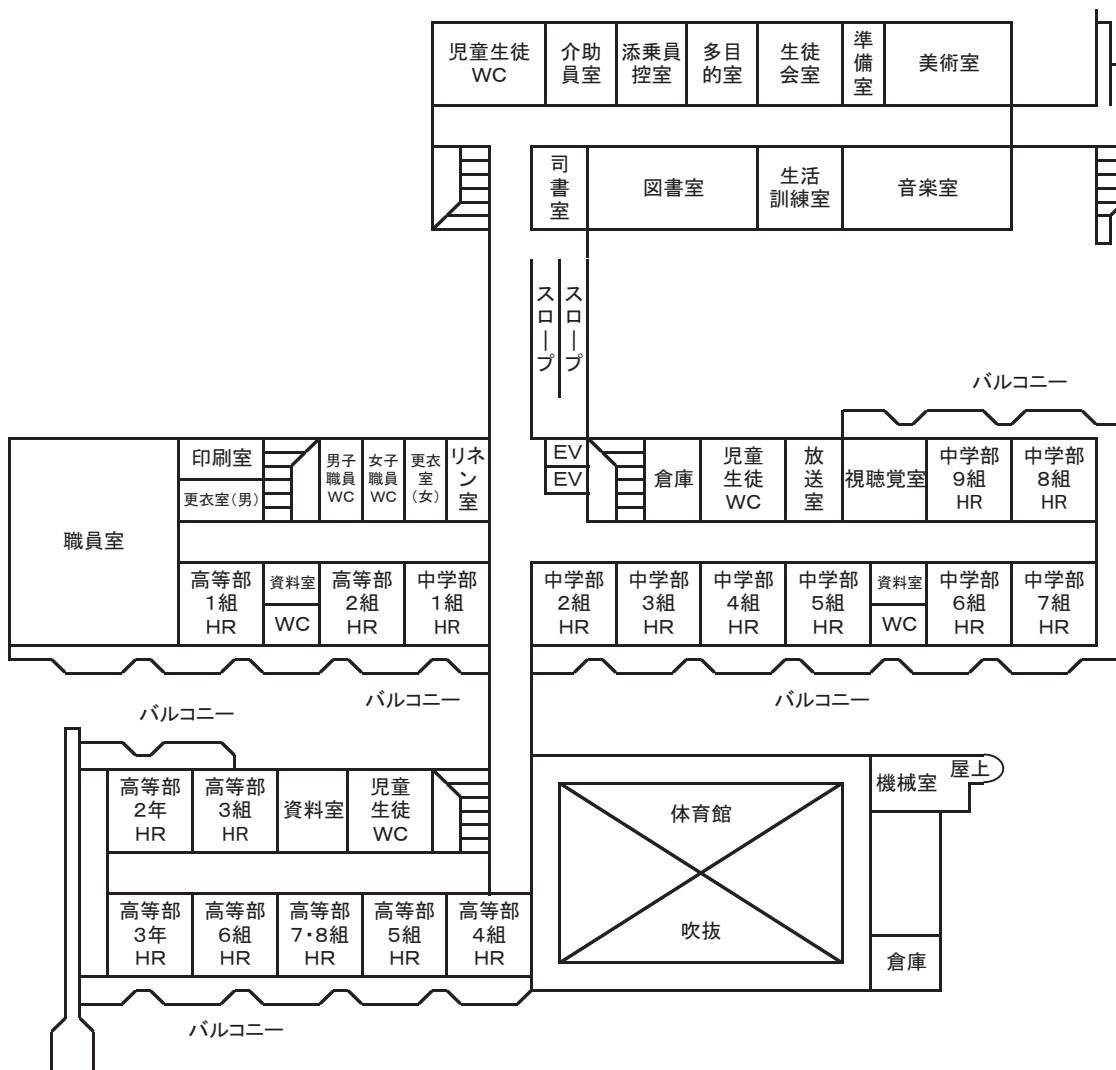
## 14 学校年間行事

月	学校全体	小学部	中学部	高等部	寄宿舎
4月	○始業式、着任式 ○入学式 ○身長体重測定、尿検査、 視力検査、心電図検査 ○前期児童生徒会認証式		○新入生歓迎会	○学部集会(歓迎会) ○高3 進路懇談会 ○高1・2 進路懇談会	○開舎 ○保護者会 ○新入進級お祝い会
5月	○体重測定 ○X線検査、聴力検査 ○整形検診、歯科検診、 眼科検診、耳鼻科検診 ○保護者懇談会 ○PTA総会		○交流学习(西郊中)	○高1・2 進路懇談会	○保護者懇談会 ○避難訓練
6月	○体重測定 ○内科検診 ○スポレク大会 ○危機対応訓練 ○参観日	○宿泊学習(城山)	○宿泊学習(城山)	○宿泊学習(城山) ○校外学習	
7月	○体重測定 ○学校見学会 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○終業式	○水遊び		○高3 就業施設体験 ○期末テスト	○夏のお楽しみ会 ○学期末保護者会 ○閉舎 ○生活体験学習
8月					
9月	○始業式 ○体重測定 ○後期児童生徒会認証式 ○危機対応訓練		○修学旅行(神戸)	○職業ガイダンス ○高1・2 就業・施設体験 ○校内就業・施設体験	○開舎 ○避難訓練 ○交流
10月	○体重測定 ○文化祭	○修学旅行(愛知)	○交流学习(西郊中)	○高2 進路懇談会	
11月	○体重測定	○アニマルセラピー	○交流学习(西郊中)	○修学旅行(大阪) ○高文祭	
12月	○体重測定 ○参観日 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○終業式	○冬のお楽しみ会		○期末テスト ○卒業生の話を 聞く会	○避難訓練 ○冬のお楽しみ会 ○学期末保護者会 ○閉舎
1月	○始業式 ○身長体重測定 ○参観日 ○危機対応訓練			○主権者学習会	○開舎 ○交流
2月	○体重測定	○入学説明会 ○卒業を祝う会	○卒業を祝う会	○入学選考 ○学年末テスト (卒業生) ○卒業を祝う会	○避難訓練
3月	○体重測定 ○卒業式 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○修了式、離任式		○入学説明会	○学年末テスト ○入学選考(再募集) ○入学説明会	○卒業を祝う会 ○学年末保護者会 ○閉舎
		○交流学习(立成小) ○校外学習	○校外学習		○誕生日会 ○季節行事

# 15 校舎施設配置図



( 2F )

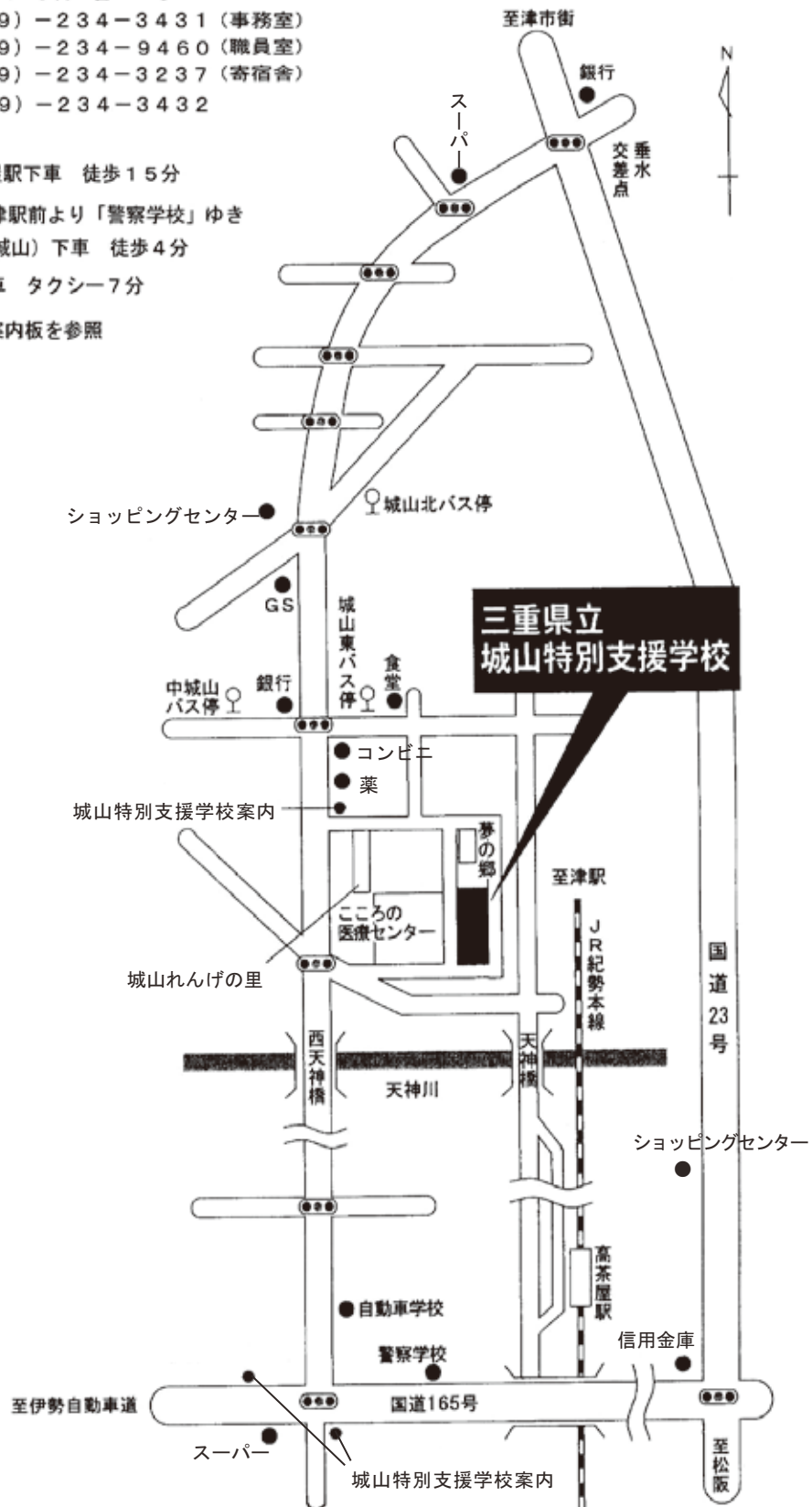


校地面積	18, 427m <sup>2</sup>
校舎面積	7, 368m <sup>2</sup>
寄宿舍面積	768m <sup>2</sup>
運動場面積	3, 691m <sup>2</sup>

# 16 学校案内図

〒514-0818 津市城山一丁目5番29号  
 TEL (059)-234-3431 (事務室)  
 (059)-234-9460 (職員室)  
 (059)-234-3237 (寄宿舍)  
 FAX (059)-234-3432

- JR東海・高茶屋駅下車 徒歩15分
- 三重交通バス・津駅前より「警察学校」ゆき「城山東」(中城山)下車 徒歩4分
- 近鉄・久居駅下車 タクシー7分
- 自家用車の方は案内板を参照





## 校章の由来

本県のシンボルでもある威勢の良いイセエビにあやかって、障がい克服して精進してほしいという願いを込めたものです。

三尾にしたのは、三重の意のほか、小・中・高の三学部、児童生徒・職員・保護者の三者、本校教育の柱である明朗・自立・友愛などを意味するものです。

それを組み合わせて円形にし、三者の協調と人格の円満と和を祈念しました。



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。



GREEN PRINTING JFPI  
P-B10216

この印刷製品は、環境に配慮した  
資材と工場で製造されています。